



加藤なを子 活動レポート

県政へのかけ橋



発行:日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 fax 25-4761

村岡新駅より住民の安全こそ

藤沢駅・辻堂駅のホームドアの設置に向けて

11月10日、政府予算要望交渉に参加しました。国土交通省では、ホームドアの設置などバリアフリー化の説明がありました。ホームドアの設置費用の割合については、国の費用負担を、3分の1から2分の1に増やしました。また、バリアフリー化を進めるため、昨年12月、運賃に整備費を上乗せできる制度「鉄道駅バリアフリー料金制度」をつくりました。JR東日本など全国の15社は、来年以降、普通運賃に10円上乗せし、整備を充実させていく方針を示しています。でも、バリアフリー化は住民の負担で整備するのではなく、国の予算でまかなうべき内容です。



(左端は畠野君枝・前衆議院議員。右端が加藤なを子)

2017年には、藤沢の住民の方から、藤沢駅のホームドアの設置について県議会に陳情が提出され、常任委員会で全会一致で趣旨了承されていますが、未だに実現していません。

朝のラッシュアワー時の藤沢駅、辻堂駅の混雑は深刻です。ホームに人があふれ、いつ事故がおきるかわからない危険な状況です。県も市も、住民の要望をしっかりと受け止めて、安全な駅にするため、ホームドアなど早急に設置すべきです。

皆さんと一緒にがんばります。



11月17日藤が岡後援会「県会市会報告会」

右は土屋としのり市会議員

なを子の花だより

ジャンボレモン（ポンデローザ）

後援会ニュースを読んでくださっている

方のお庭にあるジャンボレモンです。別名はポンデローザで、存在感のあるさわやかなレモンイエローの実が育ち、見ごたえがありました。普通のレモンの約4倍に育ち、重さは500gから大きいものは1kgになるそうです。普通のレモンより酸っぱさがまろやかです。調べてみたら、皮はレモンピールに、実はジャムにできるそうです。



日本共産党は緊急提案します

(11月10日日本共産党「物価高騰からくらしを守る緊急提案発表」)

賃上げを軸に内需を活発にして、実体経済を立て直す

1. 働く人がゆたかになってこそ、経済も強くなる
賃上げを実現する緊急で効果のある対策を
2. 消費税の緊急減税
物価高騰の中だからこそ、社会保障と教育の負担軽減を
3. 中小企業・小規模事業者をつぶさない
大量倒産・廃業の危機を開拓する本格的な支援策を
4. 食料・エネルギーの自給率の向上

財源についての日本共産党の考え方

1. 富裕層・大企業に応分の負担を求め、ためこんだ内部留保などへ課税します。
2. 格差を正し、社会全体の消費を活性化します。
3. 大軍拡を中止し、くらしを守る財政にチャレンジします。

上記の提案で計20兆円の財源を確保します。



左は味村こうたろう市会議員

生活に寄り添い、市や県で
政策提案をおこない、実現に向けて、
皆さんと力を合わせます。



11月20日（日）「加藤なを子デー」
(市内を歩き、政策を訴えました。)



11月25日（金）「日本共産党大演説会」（藤沢市民会館・大ホール）
左端は畠野君枝・前衆議院議員 中央は加藤なを子 その右側は
市田忠義・党副委員長。 統一地方選挙の候補者もせいぞろい。